

全社一体となって、 科学的合理主義と人道主義に基づく 創造的な進歩と発展を図り、 社業の発展を通じて社会に貢献する。

鹿島は、1840年(天保11年)の創業から現在に至るまで、
人々が安全・安心で快適に暮らすことができる社会を目指し、
建設事業を通じて産業・経済の発展に貢献してまいりました。
それは鹿島の技術立社としての発展の歴史でもあります。

業界の先頭を切って新たな領域や技術革新に挑戦してきた
経営者や社員の中に脈々と流れる積極果敢な「進取の精神」こそが発展の礎です。

鹿島は、常に時代の動きを鋭敏に捉え、その期待や信頼に応えるため、
技術を開発し、人を育成して、進歩と発展を図ってきました。

これからも、経営理念のもと、よき伝統を受け継ぐとともに、
絶えず、新しい発想で挑戦しつづけ、
高度かつ多様な“技術”と“人”をつなぎ合わせることで、
顧客・社会からの期待を超える価値を提供してまいります。

人の思いと技術を受け継ぎ 想像と感動をかたちにするために 新しい発想で挑戦しつづける

大切にしたい価値観

〔 開放性 〕 事業創出やR&Dに必要な リソースや刺激を外部に求め、 変化への適応力がある	〔 多様性 〕 多様な人材や働き方を重視し、 尖った発想や異なる価値観を 認め合う受容力がある	〔 主体性 〕 イニシアチブを発揮し、 新たな価値領域への仕掛けを まとめ上げる構想力がある
---	--	---

〔 企業風土 〕

誠実さ

たゆまぬ技術革新

鹿島品質へのこだわり

ありたい姿

社会

社会への貢献と社業の発展を
持続的に両立させる

顧客

顧客の期待を超える価値を
つくるプロセスとともに提供する

技術

現場の創意工夫から生まれる
技術を大切にする

経験を礎に多様な知をあわせ
未知の課題に挑み続ける

人

高いエンゲージメントのもと
多様な人材が個性を発揮する

一人ひとりが主体性をもって
新しいことに挑戦し続ける

